

10:1 イスラエルは生い茂るぶどうの木。それは多くの実をつけた。実が増えるにしたがって祭壇の数を増やし、その地が豊かになるにしたがって石の柱を豊かにした。

10:2 彼らの心は偽りだ。今、彼らはその罰を受ける。主が彼らの祭壇を壊し、彼らの石の柱を踏みにじられる。

10:3 今、彼らは言う。「私たちに王はいない。私たちが【主】を恐れていないからだ。王がいても、私たちに何ができるだろうか。」

10:4 彼らは無駄口をきき、むなし誓いを立てて契約を結ぶ。さばきは、畑の畝の毒草のように生い出る。

10:5 サマリアの住民は、ベテ・アベンの子牛のことでおののく。その民はそのことで喪に服し、偶像に仕える祭司たち、その栄光を喜んでいた者たちも喪に服す。栄光が子牛から去ったからだ。

10:6 それはアッシリアに持ち去られ、大王への贈り物となる。エフライムは恥を受け、イスラエルは自分のはかりごとで恥を見る。

10:7 サマリアは滅び失せ、その王は水の面の木片のようだ。

10:8 イスラエルの罪であるアベンの高き所は滅ぼし尽くされる。茨とあざみが彼らの祭壇の上に生い茂る。彼らは山々に向かって「私たちをおおえ」と言い、丘に向かって「私たちの上に崩れ落ちよ」と言う。

10:9 「イスラエルよ。ギブアの日以来、あなたは罪を犯してきた。そこで彼らは同じことを行っている。ギブアで、戦いがこの不法の民を襲わないだろうか。

10:10 彼らを懲らしめることがわたしの願い

だ。二つの不義のために彼らが捕らえられるとき、諸国の民が集められて彼らに敵対する。

10:11 エフライムは飼いならされた雌の子牛、麦打ち場で踏むことを好む。しかし、わたしはその美しい首にくびきを掛ける。わたしがエフライムに乗り、ユダが耕し、ヤコブが馬ぐわを引くようになる。

10:12 あなたがたは正義の種を蒔き、誠実の実を刈り入れ、耕地を開拓せよ。今が

【主】を求める時だ。ついに主は来て、正義の雨をあなたがたの上に降らせる。」

10:13 あなたがたは悪を耕し、不正を刈り取り、偽りの実を食べた。それはあなたが自分の力に、自分の勇士の数に頼り頼んだからだ。

10:14 あなたの民の中で戦塵が起こり、要塞はみな打ち滅ぼされる。戦いの日にシャルマンがベテ・アルベルを踏みにじったように、母親は子どもたちのそばで八つ裂きにされる。

10:15 ベテルよ。あなたがたの悪があまりにもひどいので、このようなことがあなたがたになされる。夜明けには、イスラエルの王は全く滅ぼされる。

信仰者が神以外のものを偶像にしているのなら、「心は偽りだ」と言われます。主を信じているとしながら、「自分のはかりごと」で、主をないがしろにするのですが、そのために「恥を見る」とあります。

「荒地を開拓せよ」とあります。荒地のような状態でも、そこから信仰の行いを始めることができます。主から離れてしまった部分に気づいたなら、開拓のように何をを始めましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

